

草加市立歴史民俗資料館

れきみんだより Vol. 1



雛飾りを眺める子どもたち

企画展「桃の節句展」開催中

展示期間：2月1日（木）～3月11日（日）／月曜休館／入館無料

歴史民俗資料館では、毎年2月に企画展「桃の節句展」を開催し、これまで寄贈いただいた雛飾りや市民の方々が制作したつるし飾りを展示しています。

雛祭りは、女の子の健やかな成長を願って行われる祭りです。3月3日（上巳）の節句に、人々が長い冬の間に つもった身の罪やけがれを祓うために、藁や紙で作った「ひとがた」「かたしろ」で自分の体をなでて、禍や身のけがれを移して川や海に流すことで厄払いした「流し雛」という風習と、貴族の生活を模して遊ぶ「ひいな遊び」が結びつき、次第に雛祭りとして行われるようになったと考えられています。

雛祭りを彩る雛飾りが、現代のように煌びやかになるのは、江戸時代後期からといわれています。江戸では、

裕福な商人層が中心となって、お座敷いっぱい雛段を設け、雛飾りを飾るようになりました（段飾り）。

一方、京都や大阪を中心とする上方では、建物の中に内裏雛等の人形を飾る御殿飾りが流行るとともに、伊豆稲取地方に代表される雛のつるし飾りも各地で流行しました。

このように「雛飾り」といっても、様々な飾り方や種類がありますが、いずれも煌びやかな光を放ち、見る者を楽しませてくれます。

春の訪れを告げる雛祭り。市内で大切にされてきた雛飾りや市民の皆様が制作したつるし飾りをぜひ、ご覧ください。

創刊のあいさつ

みなさん、こんにちは。歴史民俗資料館長の細川です。

早いもので、平成 30 年(2018)は歴史民俗資料館が開館してから 35 周年の節目の年に当たります。急変する生活様式や風俗習慣のなかで、失われつつあった民俗文化財をはじめとする文化財を保護するため、歴史民俗資料館は昭和 58 年(1983)に開館しました。以来、元校舎という限られたスペースを活かし、「親しみやすくわかりやすい展示」を心がけてまいりました。

おかげさまで、近年は年間来館者数も1万5千人

を数えるようになりました。職員一同、一人でも多くの方々にご来館いただけるよう、企画展をはじめ、歴史講座や土曜体験教室、古文書講座等、皆様に喜んでいただける事業の充実に日々努めております。

さて、当館はこれまで、市の広報紙やホームページ等を通じて情報発信を行ってきましたが、より多くの情報を市民の皆様にお届けするため、このたび『れきみんだより』を創刊しました。

これから様々な情報を発信していく『れきみんだより』にご期待ください。

歴史民俗資料館長 細川 昭二

資料紹介 第1回「草加市立歴史民俗資料館(旧草加小学校西校舎)」

このコーナーでは、資料館が収蔵している資料等を紹介していきたいと思います。栄えある第1回は、資料館の建物について紹介させていただきます。

歴史民俗資料館の建物は、大正 15 年(1926)に草加小学校の西校舎として建てられた埼玉県初の鉄筋コンクリート造りの校舎を再利用しています。

大正 14 年(1925)3月、草加小学校は火災に見舞われ、6 教室を全焼、3 教室を半焼する被害を受けました。半焼した教室は、直ぐに復旧修繕が完了したものの、全焼した西校舎は、新たな校舎を建築する必要が生じました。

新校舎建築には、大正 12 年(1923)に発生した関東大震災の教訓から、耐震耐火性が高いと注目されていた鉄筋コンクリート造による校舎建築が提起され、大正 14 年 5 月に埼玉県知事宛てに「校舎復旧新築願」を提出しました。当初、県は町村財政が疲弊緊縮している時期であるため、木造校舎に比べて 2 倍の建築費用を要する鉄筋校舎の建築に反対的な意向を示していましたが、草加町長をはじめとする多くの方々の尽力により、同年 12 月に埼玉県より鉄筋校舎増築の許可を受けることができました。

大正 15 年 3 月に起工した建設工事は順調に進み、同年 9 月 15 日、鉄筋コンクリート造 2 階建 1 棟、6 教室を備えた近代的校舎が完成しました。

なお、設計は草加小学校の卒業生である大川勇が担当しました。大川は早稲田大学で建築学を学び、



資料館外観

卒業後は岐阜県庁舎の建築に関わった後、草加に建築設計事務所を開設しています。大川は生涯に 58 棟もの校舎設計に携わっており、草加小学校西校舎は大川の手掛けた初期の建物に当たります。

竣工から 92 年を経た今でもなお芸術性の高さがうかがえる山型のデザイン屋根は、この建物の一番の特徴です。建物のほとんどが木造・低層であった時代に建てられた鉄筋コンクリート造の校舎が放つ重厚な雰囲気は、当時の草加町の人々に先駆的な建物として受け入れられたことでしょう。

校舎利用の終了に伴い、昭和 58 年(1983)11 月、草加市の文化財を保護するための施設である「草加市立歴史民俗資料館」として新たなスタートを切りました。また、平成 20 年(2008)には、「造形の模範」として認められ、草加市では初の国登録有形文化財(建造物)に登録されました。

れきみん歳時記（平成 29 年 10 月～平成 30 年 1 月）
歴史民俗資料館で開催した講座やイベントなどの取組を紹介します

10月 企画展講座を開催しました



14 日（土）秋の企画展「日光道中（街道）草加宿と参勤交代 - 八戸藩を中心に - 」に関連して、講座「草加宿を通った東北大名」を開催しました。講師の千葉一大先生（青山学院大学講師）は、八戸藩の参勤交代に関する資料を詳しく紹介され、参加者は「大変勉強になった」と喜んでいました。

11月 藍染め体験でオリジナルハンカチ！



25 日（土）土曜体験教室「藍染めハンカチを作ってみよう」を開催しました。ハンカチ布に割りばしを挟んだり輪ゴムをとめたりして、藍が染まらない部分をつかって、オリジナルな模様を描いていきます。みんな、きれいに藍色に染め抜かれたハンカチが出来上がって大変喜んでいました。

12月 手作り凧、揚がるかな？



23 日（土）土曜体験教室「^{たこ}凧作り」を開催しました。最近、凧揚げの風景も見ることが少なくなりましたが、みんな一生懸命に手作り凧を作ってくれたおかげで、久しぶりに空に舞う凧を眺めることができました。みんなで楽しく凧揚げして、一足早いお正月気分を味わいました。

1月 お正月は「草加お宝かるた」で白熱！



10 日（土）冬休み体験教室「昔遊び大会」を開催しました。かるた、けん玉、コマ回しなど、今では懐かしく感じるレトロな遊びを楽しんでみようという企画でしたが、職員の想像以上に白熱しました。

特に「草加お宝かるた」を用いたかるた大会は大盛り上がりで、バシッ！バシッ！とかるたをめくる音が館内に響いていました。

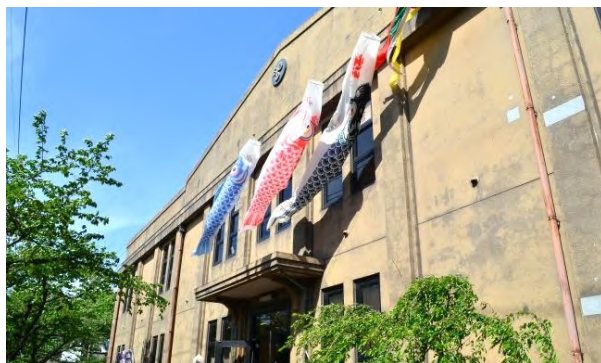
企画展の次回予告

タイトル：「端午の節句 草加宿つるし飾り展」

開催期間：4月21日[土]～5月13日[日]

資料館蔵の「五月人形」や市民の方々が製作した「つるし飾り」を展示するほか、鯉のぼりも揚げます。また、5月5日(土)には資料館中庭で野点を行い、来館者にお抹茶を振る舞います。

ぜひ、お楽しみにしていて下さい。



初夏の青空を彩る鯉のぼりを揚げます

歴史講座のお知らせ

資料館では、多くの方に草加地域の古代から近代までの歴史を幅広く学んでいただくため、定期的に歴史講座を開催しています。

3月の歴史講座は、八潮市郷土研究会顧問である遠藤忠先生を講師に迎え、草加や近隣地域における水運の展開について講話いただきます。ぜひ、ご参加ください。

題名：「草加地方の水運史」

講師：遠藤 忠 氏（八潮市郷土研究会顧問）

日時：平成30年3月25日（日）

午後2時から午後4時

定員：60名

申込：3月6日（火）より電話にて受付

草加市立歴史民俗資料館

facebook はじめました！！



皆さんに草加市の歴史や文化、歴史民俗資料館の活動を伝えたくて公式フェイスブックページをつくりました！！

草加市の歴史をもっと知りたい！、歴史民俗資料館に行きたい！

そう思っただけの情報を発信していきますので、ぜひご覧ください！

草加市立歴史民俗資料館 🔍

市公式ホームページ内のSNSページからもアクセスできます！
または、隣のQRコードからアクセスすることができます！



草加市立歴史民俗資料館

【開館時間】午前9時～午後4時30分

【休館日】月曜日（その日が休日または振替休日の場合はその翌日）
年末年始

【入館料】無料

〒340-0014

埼玉県草加市住吉一丁目11番29号

T E L : 048-922-0402

E-mail : sokarekimin@city.soka.saitama.jp

アクセス



東武スカイツリーライン「草加駅」下車。東口より徒歩7分。
駐車場が狭小のため、公共交通機関をご利用ください。

れきみんだより vol.1

発行日：平成30年2月10日

編集・発行：草加市立歴史民俗資料館